

天皇機關説排撃入講演會

- 一、日時 昭和十年四月二十日 自午後一時十分 至同五時十分
- 二、會場 福岡市渡邊通 佛教青年會館
- 三、主催 昭和神聖會福岡支部
- 四、參加者 約六〇〇名（内女五〇名）
- 五、大會の内容

1、開會

2、講

反國學説に就て 代議士陸軍少將 江 藤 九 郎

吾々は信仰に於て世界の總ては皇室の先靈即ち吾々の先祖天
 御中主大神の遊られたるものなりと信ずる神の御意志に背く
 自由主義、個人主義の世界に對し徹頭徹尾の精神を徹底させる事
 が世界平和の根本である。日本は美濃部博士の言ふが如き君

主國ではない、民主主義による憲法の解釋は日本には當嵌ら
 ぬ。天壤無窮の皇運を扶翼する者は大臣、學者ではなく吾々
 九千萬國民でなければならぬ。機關説の元祖一木樞府議長に
 私淑した美濃部博士の如き思想は日本を害するものである。
 共產主義のインテリ中には同様の思想を持つ者がある斷乎と
 して撲滅せよ、この學説に對して何等なし得ない岡田内閣を
 鞭撻し、國体を明かにし而して昭和維新の促進を圖り世界平
 和に邁進せよ。

○緊急動議

1、聲明書 別紙の通り

2、決議 別紙の通り

決議文は首相、文相、法相、陸相、海相、貴衆兩院議長
 並に樞府議長に發送す。